

お知らせ

なっています。活着を早め、初期生育を順調にさせるため、田植えは温暖な日を選び、田植後も保温的・水管理に努めることが大切です。今回は、除草剤について書いてみました。参考にして下さい。

除草体系

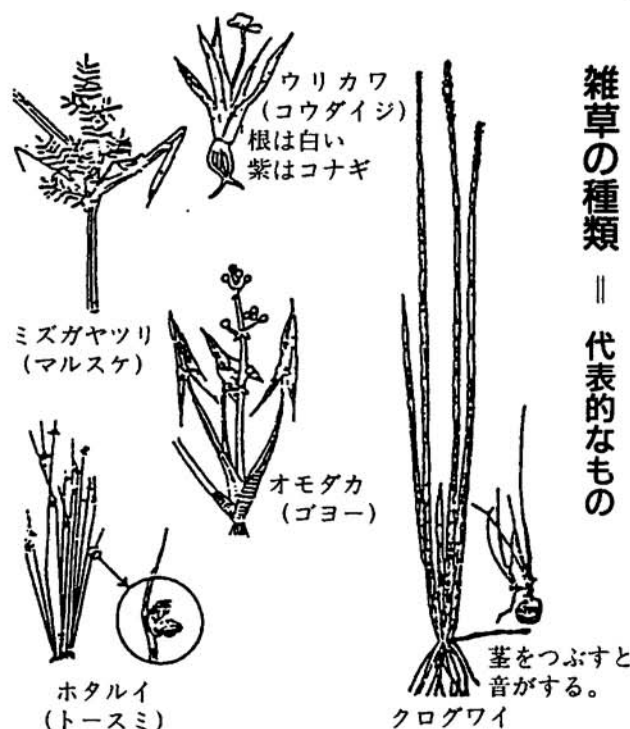
- 一回処理
一年生雑草が多い田を対象に。
- 二回処理
一年生雑草が多い田を対象に。
- ホタルイ他
ホタルイ・ヒエ等多年生雑草を対象にエックスゴーニ、MO、及びザークDを散布。
- クログワイ

普及所から 農改コーナー

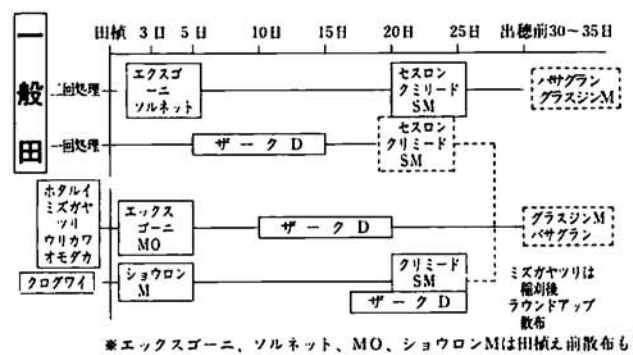
水稻の管理

今年の育苗期間は、天候が周期的に変わり、苗も軟弱・徒長ぎみと

雑草の種類 代表的なもの



シヨウロンM及びクリミートSMなどを散布。
▼除草効果を高めるための留意点
・適期・適量を均一に散布する。散布量は規定量を守るよう特に注意する。
・代かきができるだけしていねに行い、田面の均平に努める。
・一発剤(ザークD)は必ず「うえなおし」終了後に散布する。
・一発剤散布の場合、代かきから田植えまでの期間のある場合は初期剤を散布して下さい。
・異常低温(二六℃以下)又は異常高温(二八℃以上)には除草剤の使用は避ける(薬害のおそれがある)。



今春の新しい仲間

この春、心をとぎめかし、小学校に入学した「新一年生」男子二名、女子一四名のみなさんです。保護者の熱い期待を浴び、びかす。

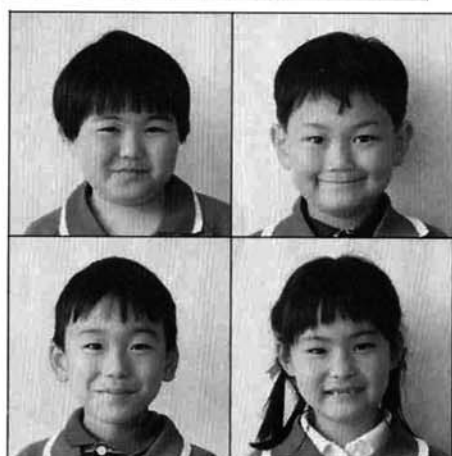
種々原小学校



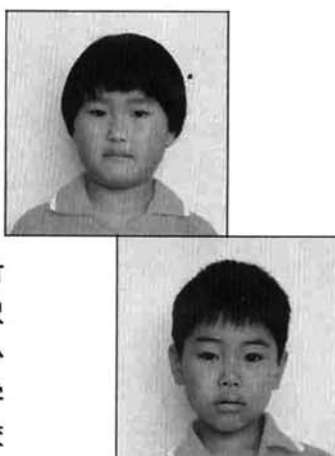
池谷小学校



虫亀小学校



東竹沢小学校



竹沢小学校



人口の動き

■人口 2,878人(△30) 男 1,445・女 1,433 ■世帯数 783(△7)
■3月中のうごき □出生2 □死亡3 □転入5 □転出34

こんなときは戸籍の届けを……

届出は住民課へ

区分	届ける人	届出期間	届出に必要なもの
婚姻届	夫と妻になる人	決められていません。届けた日が婚姻の日です。	▷夫と妻と証人二人の印鑑 ▷戸籍抄本(山古志村に本籍がないとき) ▷国民健康保険証・国民年金手帳(加入者だけ)
出生届	父または母	生まれた日から14日以内	▷届出人の印鑑 ▷健康保険証 ▷母子健康手帳
死亡届	親族または関係人	死亡の事実を知った日から7日以内	▷届出人の印鑑 ▷国民健康保険証・国民年金手帳(加入者だけ) ▷死亡者の印鑑登録証
離婚届	夫と妻	決められていません。届けた日が離婚の日です。裁判または調停離婚は裁判確定、調停成立の日から10日以内	▷夫婦と証人二人の印鑑 ▷戸籍抄本(山古志村に本籍がないとき) ▷国民健康保険証・国民年金手帳(加入者だけ) ▷裁判または調停離婚のときは判決書の謄本と確定証明書、または調停離婚の謄本
転籍届	戸籍の筆頭者と配偶者	決められていません。	▷届出人二人の印鑑 ▷戸籍謄本1通(山古志村に本籍がないとき)

くらしのガイド

新生山古志中学校 新入生32名を迎え スタート

さる四月六日村内の小・中学校の入学式が行われました。山古志中学校では、この四月から種々原中学校が山古志中学校に統合され、村民念願の「一村一校」の新生山古志中学校がスタートしました。



在校生六五名をはじめ、村議会議員や教育関係者が出席して、新入生三名の入学を祝いました。この式典の中で柳原強校長先生は、この自立への第一歩を踏み出し、意義ある出発に際して次の言葉を贈っていました。

①知的な好奇心をいっつも計られる中学生になつてほしい。なぜと疑問を持つ、この知的好奇心は私達学習の基礎になるのを始め、新しいものごとに対して進んで自ら追求することにより知的な探求心が生まれ

②良い友達をつくりましょう。良い友達はあなた方の成長に力を貸してくれます。あなたと共に喜び、あなたと共に泣いてくれる友達。ともに切磋琢磨する付き合いの中から生まれます。あなたが悪い誘惑の心に負け、道を踏みはずそうとした時、必死にあなたを押し戻そうとする真の友達。

時には意見の対立することもあります。意見の対立をみて、あなたは一段と成長することでしょう。酒井村長は「私が校長職に就かして頂きたい。二年、この間に大変な心を持ってまいった点がございませう。それは毎年八月に村で成人式を行っています。式のと皆んなが一緒になって、お祝のパーティーを開きますと、山古志中学校区、種々原中学校区の成人者が必ず二つのグループになってしまふことです。今の三年生が卒業し、その後村の成人式で一緒になった時はグループが二つになることはありえないと私は確信を今からいたしています。」と祝辞を述べていました。

また、在校生を代表して佐藤久君は「在校生は皆さんの入学を心から喜んでいきます。中学校は小学校と違い、それぞれの教科に専門の先生が教えてくれます。学習内容も難しくなり、自分から進んで勉強する気持が大切です。特に今年度は、種々原中学校と山古志中学校が統合して最初の年です。生徒会の活動もたくさんありますが、皆んなの力を合せて新しい山古志中学校を築いて行きましょ〜」と歓迎の言葉を述べていました。



榊澤悟君が「中学校では、新しく英語の学習などがあり、僕はその英語と部活動に特に頑張りたいと思います。単語などたくさんおぼえて、早くなれたいです。部活では運動が好きなので運動部に入ってます〜」と力強く誓っていました。

山古志中学校 新しい校旗を樹立

入学式を前に新生山古志中学校の校旗の樹立式が先生や生徒をはじめ関係者が出席して行われました。

昨上教育長から団結と飛躍を象徴した新しい校旗が、柳原校長先生に授与され、新生山古志中学校の門出を祝いました。

昨上教育長は「関係各位と学区民の皆さんのご理解と協力により中学校の統合が実現し、新しい山古志中学校の校章を制定することになりました。村章をデザインした、長岡市の小高友一さんにデザインをお願いしました。三つの案が示めされ、一村一校の中学校となることでもあり、村章を中心としたデザインが好ましいと、これに決まりました。

校章は生徒のみなさんと先生の心の寄りどころです。二校の輝しい伝統を引き継ぎ、新生山古志中学校の限りない発展を願っています。」と樹立の言葉を述べていました。

また、校章を基に校旗をデザインされた小高さんに感謝状が、星



野教育委員長から贈られました。引き続き、小高友一さんは「高い山は真理を表わし。羽ばたく鳥は生徒のみなさんが勉学に励げみ未来に向けて限りなく飛躍と、中心の円は三学年が協調することを表わしています。バックは二つの学校が輝しい伝統を築いてきた校章を基に、雪の結晶を取り入れました。

また、山コシのマークを見せるために雪の結晶はシンプルな色で仕上げ、雪の結晶を持って山古志中学校の「中」の字を表わします。本校のスクールカラーである濃いグリーンと調和させるため、それぞれの配色に意をもちました」とデザインの説明を行っています。

平成四年度 特別会計の 予算概要

平成四年度山古志村特別会計当初予算の概要をお知らせします。

国民健康保険

歳入歳出それぞれ二億二、〇〇〇万円と定め、前年度より二、四〇〇万円、一、二二％増額しました。

年々被保険者数は減少している反面、医療費は増加している中、保険料は本年も据置しました。保険料は、前年度一人当たりの伸率二一・六％を見込み、一億四、〇四六万円を計上しました。この中で助産費、葬祭費の金額を二五万円、一〇万円にそれぞれ引き上げました。

また、疾病予防については、従来の人間ドックの年齢制限を改めて、希望者の検診範囲を拡大しました。

これらに対する収入は、国庫支出金九、八三三万円を見込み、保険料を据置し給付準備基金から二、二〇〇万円、一般会計から四四八万円をそれぞれ繰入れて行います。

診療所

歳入歳出それぞれ一億二、二六〇万円と定め、一、〇四〇万円、一〇・二％増額しました。

年々患者数の増加に伴い、医薬品の購入費も増え、予算総額の四八・八％を占めています。

胃カメラ検診の委託を受け三年目となりますが、受診者は増加してきています。三年度実績では三五七人が受診。年々がん予防の意識は高まってきました。本年も中央病院の協力を得ながら検診体制を強化します。歳入は、診療収入が全体の八九・七％を占め、一般会計からの繰入を必要としない健全財政を守っています。

老人保健

人口の高齢化が急速に進んでいる本村の老人保健対象者数は四五八人（四月一日現在）です。この対象者に対する医療諸費二億一、三三四万円は、予算総額の九九・六％を占め、対する歳入は、社会保険支基金交付金、国・県支出金及び一般会計から一、一四三万円を繰入れて行います。

簡易水道事業

歳入歳出それぞれ一億八、八〇〇万円を計上しました。

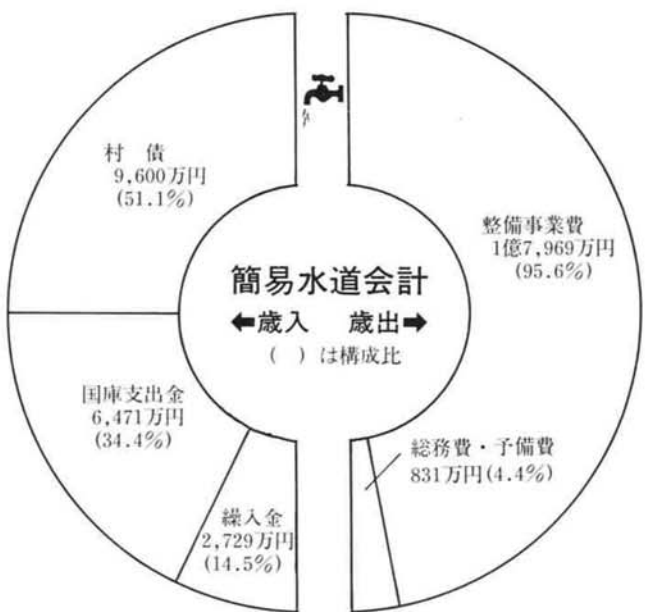
本年度の事業は、虫亀地内松の木沢の湧水を水源として利用するため溜池の新設などを村単独事業で行う他、補助事業としては水源の集水槽ポンプ施設や配水池を建設し、本管の伏設工事も行います。これらの事業費に一億七、九六九万円を計上しました。

いっぽう歳入は国庫支出金・簡易水道事業債一億六、〇七二万円を見込み、一般会計から二、七二九万円を繰入れて行います。

歯科診療所

歳入歳出それぞれ三、二二〇万円と定め、前年度より三五〇万円、一一・六％増額しました。

本年度からねたきり老人対象の訪問診療や総合健診時に、歯科検診も合せて行う計画です。患者数



長年にわたり 図書を寄贈

草間トメさん 中川健蔵さん

種芋原小学校元教師の草間トメさん(旧姓今泉) 埼玉県朝霞市在住。中川健蔵さん北海道札幌市在住の二人の方から、長年に渡り貴重な図書などが、種芋原小学校の児童に贈り続けられています。



草間さん

草間さんは、昭和七年から九年そして十八年から四十二年までの二十六年間、中川さんは、二十年から二十二年までの二年余り、それぞれ教師として勤められた方です。

井口校長先生は「草間トメさんは、昭和四十二年から今日まで、贈られた図書の数は八〇〇冊を超えます。中川健蔵さんは、六十二年から贈られ、約三〇〇冊となっています。

この二人の方の好意は、なんとも言いようのない、ただ頭のさがる思いです。おかげで村内小学校一番の図書室となっています。昨年は、学校田で取れたお米を学校だよりと一緒に、二人に送りました。」と話されていました。



中川さん

これら図書は、草間文庫、中川文庫として図書室に収められ、数多くの児童に親しまれ喜ばれています。この二人の方に先日、寄稿を依頼したところ、この度、便が届きましたのでご紹介いたします。

二十六年間通した(新卒での二年間を含め)村を離れたのは、昭和四十二年の春でした。残雪の中に咲く、紫色のカタコの花が可憐でした。

埼玉に落ち着き、主婦業をしながらも、素朴な村の子どもたちのことが思い出されました。

何とかあの子どもたちと、かわり続ける方法はないか、私のしあわせをあげられることはないかと、考えました。



村を離れる前年開かれた、教育研究会、とりわけ、読書指導のことが頭に浮かびました。そして、書籍を贈ることを考えついたのです。

あれから、二十年ほどたちました。ささやかな気持ちですが、今は、「草間文庫」となって、種小の子ども達に親しまれていると聞き、感激しております。

今では、図書費を送ること、卒業式の祝電を打つことが、楽しみとなりました。

ありがたいことに、代々の校長先生から、種小だよりや文集を送っていただいています。懐かしさが胸がいっぱいになります。

そんなとき、村や村の人たち、村の子どもたちとつながっているような気持ちになるのです。

私も八十才になりました。年をとることに、いよいよ種芋原が温かく、やさしく感じられます。

皆様のご健康とご多幸を、お祈りいたします。

わが青春のふるさと、中川健蔵今から四十七年前の昭和廿年四月、

私は十八才で種芋原小学校の助教(代用教員)として就職した。私にとっては人生の最初のスタートで、不安と期待の交錯する気持ちを押え乍ら長岡市から峠を超えて種芋の村に入った時のことを今でもよく記憶している。

それからの二年有余を村で過ごすことになるが、まず下宿先の坂牧屋のよきさんにとっても親切にして頂いた。私にとつての未知の世界の中で、見聞すること、体験することすべてに感動を覚え、興奮したあの頃の事が走馬燈の絵のように私の頭の中を駆けめぐる。

美しい大自然、純朴な村の人々、明るい瞳を輝かせて呼びかけてく

樺澤忠春さん 消防庁長官表彰



山古志村消防団副団長の樺澤忠春さんが、消防団活動三十年の永年勤続功労が認められ、消防庁長官表彰を受けられました。

この表彰の伝達式が去る三月十日、新潟県庁で行われました。

六日、新潟県庁で行われました。樺澤さんは、昭和三十七年に消防団員を拝命以来班長、副分団長、分団長を経て、六十一年九月副団長に就任、団長を補佐し現在に至っている。

今後、一層のご活躍を期待いたします。

星野議長さん 一日郵便局長に

四月二十日の通信記念日に、竹沢郵便局では、村議会議長の星野義雄さんを一日局長として迎え、記念式典が行われました。

式典で職員星野友門主任さんに「あなたは、きわめて強い責任



感とすぐれた手話をもって職務に精励し事業の発展に寄与された」として局長表彰が贈られました。

その後、中村局長から星野さんに一日局長の委嘱状が渡された。

星野一日局長は「毎日の郵便業務に感謝してありますが、今後も地域のためにさらにご活躍を願います」とあいさつを述べて業務に就いていました。

竹沢駐在所に 目黒京一さん

今まで竹沢駐在所に勤務されていた小林修治さんが巻警察署に転勤となり、新しい駐在所として目黒京一さん(二九歳)が来られました。目黒さんは三条署からの



転勤で、生まれは北魚沼郡広神村です。家族は奥さんのアツ子さんと二人です。

趣味は、油絵・将棋。村の油絵教室に参加してみたいと話されています。

村民のみなさんが気軽ににつきあひすること、犯罪のない村づくりの第一歩です。駐在所にご協力ください。

献血にご協力 ありがとうございました



4月15日の献血で次の92人からご協力をいただきました。(敬称略)
○印は400cc採血者です。

- 種芋原**
- 川上清吉 坂牧イミ ○草間頼雄
 - 樺澤恵子 ○小川英夫 長谷川美恵子
 - 山浦裕明 坂牧あき子 ○小川六一
 - 小川明美 ○佐藤幸夫 須佐真由美
 - 坂牧忠雄 金内香津子 佐々木道夫
 - 坂牧重秀 樺沢勝男
- 虫 亀**
- 佐藤丈平 長島きみ子 長島世津子
 - 西原たき子 五十嵐洋子 井木豊子
- 竹 沢**
- 星野サツ 青木正子 佐藤敏子
 - 星野礼子 高野千恵子 高野シズ
 - 高野キク 小池順子 星野信子
 - 星野フジエ 齊藤真智子 ○星野 力
 - 長島栄一 ○関 幸雄 星野恵治
 - 高橋武俊 齊藤 隆 ○星野吟二
 - 星野 信 ○川上敏郎 星野茂夫
 - 星野秀雄 関 稔 佐藤誠一
- 東竹沢**
- 松井孝一郎 上田清作 ○関 正史
 - 小川喜太郎 ○石井浩二 関 静子
- 南 平**
- 齋藤晴美 ○畔上多作 ○畔上 勝
- 村 外**
- 佐藤 学 五十嵐博 ○景山勝弘
 - 石原十八 荒尾 昇 曾我哲也
 - 友野京子 小林梅野 白井普子
 - 高岡テイ 坂牧玲子 内藤規子
 - 猪俣健太 大竹章人 渡辺真人
 - 三留武男 倉地正人 武石 忍
 - 菊入 涉 武田 努 佐田健一郎
 - 鈴木 誠 大滝啓介 山屋英樹
 - 山之内政行 関口孝志 岡村 稔
 - 菊入大樹 杉山智之 正田匡史
 - 齊藤真弓 丸田佳代子 中村佳子
 - 長谷川朝子 高野康子 遠藤真由美



まどかちゃん

平成元年10月11日生まれ 齊藤末松・京子さん(2女)
—池谷—

2歳6ヶ月でなんと体重21kg。
我が家の小錦といわれています。
この4月から、保育所に通いはじめましたが、つかれもみせず楽しい毎日を送っているようです。
元気で素直な子に育ってほしいものです。

わが家の スター



日ごろの成果発揮 ツ少年団

スキー場オープンとともに日夜スキーに励んで、技術のレベルアップを図ったツ少年団。第二回浅貝トロフィーカップ大会に参加して、日ごろの練習成果を見事に発揮しました。
成績は次のとおりです。
〔大回転ジュニアの部〕
男子
四位 小川 淳(東小)
五位 星野広史(竹小)
女子
五位 松井智美(東小)
〔大回転少年の部〕



男子
四位 齊藤 裕(山古志中)
〔タイムトラアルジュニアの部〕
男子
二位 星野広史(竹小)

教職員の異動

この春、村内の教職員の人事異動が発令されました。
転出された先生方、長い間ありがとうございました。新しい先生方よろしくお願ひします。

新しい先生

種彦原小学校
長谷川新一(教頭) 長谷川綾子(主事)
中亀小学校



羽田野晃校長

滝沢清詩(教諭) 小皆佳子(養護教諭)
池谷小学校



石川吉郎校長

結城美代子(教諭) 国松鈴子(臨時養護助教諭)
東竹沢小学校
尾身和多利(教頭) 佐藤佳子(臨

時養護助教諭)
山古志中学校
羽賀道夫(教頭) 五十嵐隆一(教諭) 高橋信之(教諭) 三川雅人(教諭) 宮村祥子(教諭) 松崎泰子(教諭) 山田晴美(養護教諭) 五十嵐風千恵(主事)

長岡農業高校山古志分校
松井哲郎(教諭) 竹田奈保子(常勤講師)

転出された先生

種彦原小学校

長谷川房一(教頭) 今井雅廣(主事)

虫亀小学校

渡辺英男(校長) 齊藤裕美(教諭) 本田和明(教諭) 本間恵美子(養護教諭)

池谷小学校

保坂邦夫(校長) 宮越明子(教諭)

東竹沢小学校

岩崎武(教頭)

種彦原中学校
塩浦寅夫(校長) 酒井達吉(教頭) 菅野強(教諭) 松尾江里子(教諭) 湯澤昭一(教諭)

山古志中学校
坂井泰一(教頭) 星嘉裕(教諭) 上村茂男(教諭) 熊倉明子(教

諭) 高山武(教諭) 藤木久美子(教諭) 平沢むつ(養護教諭)
長岡農業高校山古志分校)
阿部見和子(教諭) 古畑豊和(教諭)

消防署山古志出張所 職員の異動

四月の異動で消防署山古志出張所に転入された職員をご紹介します。

敬称略()内は職名です。
よろしくお願ひします。

関 清司(所長) 小千谷市



渡辺秀樹(副士長) 小千谷市
谷口彰朗(副士長) 小千谷市

5月10日に 消防演習

消防団の演習が、五月十日に行われます。各分団単位で村内いっせいに行われます。時間は午前九時から、打鐘を合図に開始されます。

生涯学習の基礎は家庭から

◇おざなりにできない

乳児の家庭教育

最近、家庭教育の大切さが再認識されています。かつて、生まれつきの赤ちゃんと、目も見えなければ耳も聞こえないといわれていました。しかし、今では医学や心理学の研究が進み、人間は胎児のときから視力も聴力も働いていることが明らかにされています。また、乳幼児の時期の育ち方や体験が、その後の身体の発達や性格の形成などに重要な意味を持っていることも明らかになっています。「三つ子の魂百まで」が科学的に裏付けられたというわけです。

このように考えてみると、家庭教育は、乳幼児の時期からおざなりにできないことが分かります。子どもが人間性豊かな人格の持ち主となり、生涯にわたって学習しようとする意欲を持ち続けるかどうか、これは「家庭教育」のあり方によるところが大きいのです。

◇人間性豊かな人格形成を
人間には、子どもから大人へと成長していくそれぞれの時期に、身につけておかねばならない課題があります。それらには、身

体の発育、運動機能、知識、情緒などのさまざまな側面があります。が、人間性豊かな人格を形成するためには、次のような点に配慮することが重要だといわれています。

- ・ 乳児期には、親や周囲の人々に対する信頼感を持つこと。
- ・ 幼児期には、自立心を身につけること。
- ・ 少年期には、活動性や自発性を発揮すること。
- ・ 青年期には、自分の態度や行動に一貫性を保てるように自己の確立を目指すこと。

◇学習への意欲や姿勢は親の態度から

子どもが、このような課題を達成するためには、親がそれにふさわしい環境を作ることが大事です。そのためには、

- ・ 親が子供との触れ合いを多く持ち、子供に体験、思考、選択させる機会を豊富に持たせてやることです。
- ・ そして親自身がひたむきにしかも楽しく学び続けることです。そうすれば子供も自然と見習って学ぶ意欲や姿勢を持つようになるでしょう。(生涯学習の時代より)

健康コラム

今日の担当は 内藤保健婦です

今すべてに答えが だせなくとも...

私の担当地区には把握しているだけで7人の痴呆性老人がいます。そんな痴呆性老人を持つ家庭に時々訪問させていただきますが、いつも家族の方の話を聴いてくるだけで、なんの助言もできないのです。これではいけないと思いつつ、どうすることもできませんでした。そんなある日、一家の痴呆性老人の家庭に訪問しました。今までの経過をきいてみると、どうも痴呆になるまでには何年もかけているような出来事に出合いながらなっていくようです。

その家族は長年頑張ったおばあちゃんに一つの部屋を与え「今まで大変だったから今度は自分の好きな事をしていいよ」といいます。老人は一日中その部屋にいま

したが時々嫁に「お前は好きなのに遊んでいいと言うが、それが一番おことなんだって」と口説いていたそうです。

これからもわかるように、老人が一日中一人きりであることの大変さ。何をしても過ごしたらいのかかわらないのです。まして趣味や娯楽を知らない年代の老人はする事がない程つらい事はあります。またその老人は毎日近くのねたきり老人の所に遊びに行っていました。しかしある日そのおばあさんが亡くなってしまったのです。その老人にとって毎日行っていた場所がなくなってしまうのです。老人が年をとるにつれて失うものはお金でも時間でもなく人間関係なのです。今回のことはこの老人にとってかなりのショックだったに違いありません。このことが老人の痴呆をさらに悪化させました。

このように整理してみるとどうも筋道があるようです。逆に言えばこの経過の中で痴呆を食い止める機会が幾度かあったと考えられます。このようなケースは、他の痴呆老人にも少なからずあると思

います。
今すぐ答えが出せなくても家庭訪問を積み重ねて、山古志の痴呆性老人の成り立ちを知り、予防策を考えて行きたいと思ひます。